

公開学習会のご案内

一世を風靡した新自由主義的改革は、高等教育の世界においては国公立大学の法人化をもたらしました。「競争力の劣る分野を淘汰し、より競争力のある領域に資源を集中させることで効率化を達成する」という構造改革の理念は、大学においては競争的研究費配分の高まりによる基礎的研究や教育向け予算の縮小をもたらしてきました。運営費交付金の毎年のカットに加えた人件費カットを通じて、必要なスタッフの補充もままならない、カリキュラムの維持が困難になる、必要最低限の研究教育予算が確保できないなどの「大学破壊」がもたらされてきたのではないのでしょうか。

運営費交付金の事業仕分け時には、国立大学法人の見直しの必要性が指摘されたように、私たち大学人もまた、法人化によって歪められた大学の現状について社会に対してメッセージを発する必要があります。この度、日本科学者会議静岡支部は、大学法人化問題について下記のような学習会を企画致しました。是非ご参加くださるようお願い申し上げます。

日時 2009年12月20日(日)午後1時半～4時半
会場 静岡県労政会館第4会議室

< テーマ >

法人化以降の国立大学の現状と課題

< 報告予定者 >

基調報告 世取山洋介氏（新潟大学）

「国立大学法人法制の改革課題」

個別報告 1 . 国立大学法人の学長選考のあり方について
静岡大学 鳥畑与一

個別報告 2 . 国立大学の財政問題
静岡大学 伊東暁人

主催 日本科学者会議静岡支部
後援 静岡大学教職員組合

問合せ先：日本科学者会議静岡支部事務局
鳥畑与一（054-238-4548）